

授業者、遠隔システムの状況

鹿嶋市立高松中学校（配信校）

石塚 有美 先生 **専門人材**

- 臨時免許状（中学校英語科）を授与
- 配信校に勤務



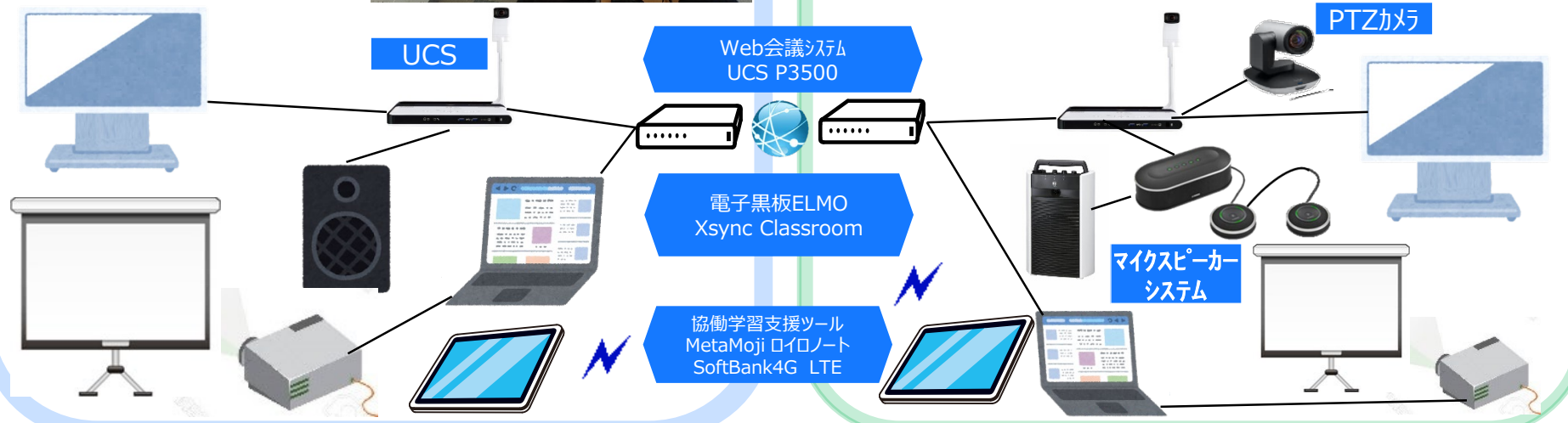
鹿嶋市立鹿野学校（受信校）

落ち着いて学習し、前向きに頑張る生徒が多い。**アドバンスクラス**
やや大人しい面が見られる。



額賀 翔太 先生

- 保健体育免許状
 - 受信校に勤務
- 遠隔教育特例校制度の活用**



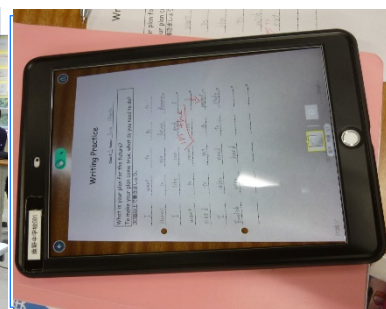
授業の計画 第2学年 単元名「So many countries, So many customs.」

単元のねらい ○ 2つのものを比べる場合や、もっとも程度が高いことについて述べる言い方を自分の意見を踏まえて表現できる。

時	学習内容	形態	
		対面	遠隔
1	期末テスト準備 1		○
2	ディベート		○
3	ディベート beach vs mountains, staying at home vs going out		○
4	期末テスト準備 2		○
5	期末テスト準備 3		○
6	テスト返却	○	
7	パフォーマンステスト	○	
8	Program10 比較級の復習及び 教科書の内容をリテリング		○



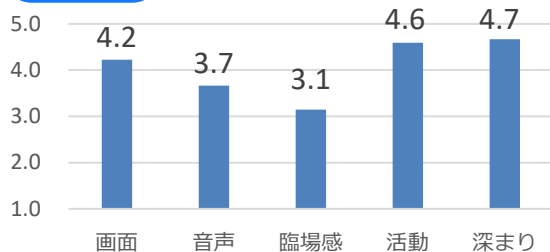
T1の指示を聞きながら、ディスプレイに映る課題を確認している様子



ワークシートに書いた writing の課題をロイロノートで配信側の先生に送信し、チェックをもらう。

アンケート, 成果と課題

生徒



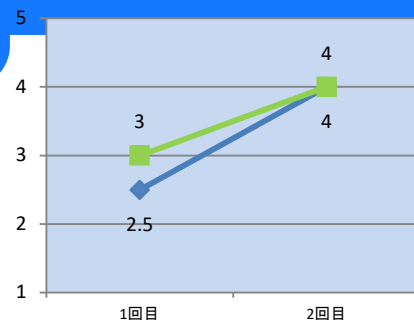
生徒の声
実際にその場に先生がいるかのような授業だった。(ハード面)

生徒の声
たくさん話す活動ができて、とても楽しかった。(ソフト面)

教員

配信側
受信側

相手とのやり取りはスムーズでしたか。



成果

- 対面授業の期間が半年ほどあり、生徒の実態を把握することできたため、遠隔授業に入ってからでも生徒の見取りがスムーズにできた。
- 遠隔授業では、生徒同士の協調性が生まれペアやグループでの活動が協力的になった。

課題と対応案

- UCSの回線が授業中に数回ダウンしてしまい原因の究明に時間がかかった。
→ IPアドレスの競合が原因であったが、改善された。
- 1人1台端末ではなかったため、E4SやMETAMOJIの使用では難しさがあった。
→ 1人1台端末の活用による学習状況の把握の促進